

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学小児科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2019年8月 福島県立医科大学医学部小児科学講座 准教授 橋本 浩一

【研究課題名】 SSPE 診療ガイドライン作成のための SSPE 患者由来生体試料の検討

【研究期間】 2019年8月(承認後)～2029年6月

### 【研究の意義・目的】

亜急性硬化性全脳炎 (Subacute Sclerosing Panencephalitis ; SSPE) は、“はしか(麻疹)” になってからおよそ 2～10 年の潜伏期間の後、中枢神経症状が出現する病気です。SSPE になると進行性に症状が増悪し、多くの場合、高度の認知障害、そして植物状態となる重篤な病状を示します。現在、免疫を調整する薬剤や抗ウイルス薬を使用していますが、SSPE に対する根本的な治療法がないのが現状です。新たな治療方法としてリバビリンの脳室内投与が試みられ、SSPE 発症初期の患者において臨床症状の改善がみられています。リバビリン投与中止後、6 ヶ月以内に髄液中の抗麻疹ウイルス抗体の上昇や SSPE 症状の再燃がみられ、新たな薬剤・治療法の確立が望まれます。同時に安全に効果的に本疾患の診断、治療をするための、最新の知見を取り入れた SSPE 診療ガイドラインが必要です。

本研究では SSPE 診療ガイドライン作成を目的に、診断、および治療のために採取した生体試料(血液、髄液)の残余検体を詳細に解析し、カルテの臨床情報と合わせて検討します。

### 【研究の対象となる方】

1. 研究開始前に当施設で SSPE の診断で治療を受けた患者さん。
2. 研究開始後に当施設で SSPE の診断で治療を受けた患者さんのうち、本研究参加に同意を得られた方。

### 【研究の方法】

SSPE 患者さんの通常診療の際に採取された試料(血液、髄液)について、検査後の検体(残余検体)を、当大学小児科学講座内でウイルス学的、免疫学的、生化学的に詳細に解析します。検討する際には解析結果および患者さんのカルテの臨床情報も用います。さらに、より詳細な解析のため検体の一部を九州大学に提供して解析を行います。但し、検体は匿名化された状態で提供します。

### 【研究組織】

研究責任者	(所属) 小児科学講座	(職) 准教授	(氏名) 橋本浩一
研究分担者	(所属) 小児科学講座	(職) 助教	(氏名) 久米庸平
研究分担者	(所属) 小児科学講座	(職) 助教	(氏名) 知識美奈
研究分担者	(所属) 小児科学講座	(職) 助手	(氏名) 岡部永生

### <共同研究機関・研究責任者>

(所属) 東京医科歯科大学大学院 (職) 教授 (氏名) 白銀勇太

### 【他の機関等への試料等の提供について】

- ・提供先：東京医科歯科大学大学院、白銀勇太
- ・提供資料：血液、髄液
- ・提供方法：郵送

**【本研究に関する問い合わせ先】**

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

**【試料・情報の利用を望まれない場合の問い合わせ先】**

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

○問い合わせの連絡先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 担当 橋本 浩一

電話:024-547-1295 FAX:024-548-6578

E-mail:don@fmu.ac.jp